



す え な り

がっこうきょういくもくひょう ゆめ
学校教育目標「夢をもち、しっかり学ぶ子」

ひと あ ふか
～人とのかかわり合いを深めながら～

令和5年(2023年)

4月28日

宝塚市立末成小学校

『ほめること』『認めること』『共感すること』

子どもたちは、新しい環境のもと、緊張しつつも自分の力を発揮しようとしている姿を様々な場所でみせてくれています。ご家庭でも同様の姿があろうかと思います。ぜひとも子どもたちに「ほめ言葉」を届けてください。宝塚市教育委員会では、「いいとこいっぱいみつけよう！毎月11日は、ほめほめデーを推進しています。子どもの心に寄り添い、健やかな成長を支えていきたいという考えからです。

子どもに、「がんばれ！」と言いたくなる場面がありませんか？そういうときこそ、「がんばっているね。」と言ってみてはいかがでしょうか？そう言ってもらえると認めてもらえていると実感し、心があたたかくなります。そして、もう一つ、さらにがんばろうと思う言葉があります。それは、「がんばりすぎないでね。」と「ありがとう。」です。

人は楽しいことには没頭します。それは言い換える「努力」です。この「努力」が重ねられると成功体験になります。得意なことをもっともっと伸ばすことは「努力」なのです。この「努力」に共感していただきたいのです。苦手なことには次のステップで取り組み、少しの時間でいいから取り組んでみようと促します。子どもの様子をみて、「そうだね。」「同じだね。」「惜しいね。」など短い言葉でいいので、必ず共感する言葉を届けてください。

4月からも保護者・地域の皆様にお力添えをいただいています。登下校時の見守り、学校周辺の清掃、朝のあいさつなど、心強い支えを感じる毎日です。4月21日(金)、スクールボランティアすえなり(SVS)を発足しました。このボランティア活動は、本校の教育活動について地域の教育力を生かすため、「できることを、できるときに、できるところから始める」ことをお願いしております。子どもたちも保護者・地域の皆様とおしゃべりをしたり、見守っていただけたりとすることで、安心して過ごしています。

これからもどうすればさらに子どもにとってよりよい学校になるか考えていきます。学校がふれあいの場として、人と人とが出会い、モノや出来事に出会い、毎日学校に来てよかったと思える場になることを願っています。保護者、地域、学校がさらに大きな「チーム」になって末成小学校の子どもたちの健やかな成長を促したいものです。コミュニティすえなり、学校応援団をはじめ、多くの方々に学校へ足を運んでいただき、地域のTAKARA(宝)である子どもを見守っていただけると幸いです。今後ご理解、ご協力をお願いいたします。

校長 南 理香

5月から、手紙の配布はデジタル連絡ツール「スクリレ」のお便り機能配信を使います。「学年通信」「学年だより」、個人懇談の案内などです。しばらくは、用紙もお配りします。